

- 管内の若手養豚後継者が規模拡大したものの、管理不足により経営不振となったため、平成21年から関係機関とともに経営の再建を支援。
- 現在、繁殖及び肥育部門での生産技術が向上、当面の生産成績目標を達成し、堅実に借入金を償還中。

具体的な成果

1. 繁殖成績の向上 (H21 → H24)

分娩回数	2.09	→	2.20 回
分娩率	75.0	→	80.2 %
総産子数	10.5	→	10.7頭
正常産子数	9.7	→	9.9頭

2. 肥育成績の向上 (H21 → H24)

肥育日数	197.4	→	175.1 日
肥育要求率	3.26	→	3.02
農場要求率	3.90	→	3.58
出荷数/母豚	17.6	→	20.0頭

3. 経営意欲の高揚と償還財源の確保

- 生産成績と簿記の適正な記帳
- 飼料購入未払金の把握と削減
- 繁殖母豚台帳による適正管理
- 飼養管理環境の改善整備

分娩舎の保温対策



コンパネで破損カーテンを補修

普及員の活動

【平成21年度】

- 繁殖成績の向上対策、資金繰りなど技術検討会の実施と経営計画作成の支援。

【平成22年度～】

- 制度資金の指導班としての役割分担により、経営成績を分析した経営検討会の実施(半期ごと)。

【平成23年度～】

- 関係機関とともに畜舎等環境整備の支援(随時)。

【平成24年～現在】

- 経営検討会(毎月)を開催し、生産成績、収支状況に関する情報を関係機関が共有化、生産技術、施設改善などを重点指導。

普及員だからできたこと

1. 生産技術や経営実態を把握し、各関係機関指導者と情報の共有化を図ることで、経営者の自覚、理解度、労力、経済力などに応じた具体的な改善策を統一的に指導する体制を構築。